

池間大橋開通23周年記念植樹 ～つむなば・すまばな・うぐな りば～開催しました



発行者
NPO 法人いけま福
祉支援センター
電話：75-2870



2月14日(土)、池間大橋開通23周年を記念して、島の玄関口である池間漁港周辺に1000本の苗木を植樹するイベントが開催されました。主催は、いけま島おこしの会と美ぎ島宮古グリーンネットです。当日は好



天に恵まれ、予想をはるかに超える160名の参加者が集まりました。自治会、老人クラブ、在平良池間郷友会、体育協会、池間幼小中学校とPTA、漁協、漁協女性部、NPOいけまの各団体から、たくさんの方が集まってくださったほか、漁港整備や池間大橋の補修を行う建設業者のみなさんも参加。宮古島からも多くの家族連れが参加し、植樹作業は30分ほどで完了しました。今回植樹したのは、モンパノキ(アララジユキ)426本、ブツソウゲ(アカバナ)435本、クロヨナ100本、



テリハボク(ヤラブ)21本です。モンパノキは、「メガネギー」とも呼ばれるように、かつて水中眼鏡を作る際の材になった木です。漁師のオジイたちには好評だったようです。作業の後は、豚汁とおにぎりで差し入れのてんぷらなどが振る舞われ、グラウンドゴルフ上でピクニックのような光景が広がりました。この日植え付けた樹木には、島おこしの会の各団体が交替わりで水遣りを行い、成長を見守っています。





池間島の市場 朝市毎週開催して います!!

2月8日(日)より、毎週

日曜日は池間漁協による朝市が開催されています。底魚一本釣りで獲れた高級魚を鮮度の良い状態で漁師自ら販売しています。鮮魚のほかにも、畑で採れた野菜や手作り惣菜などの出品者も募集中のことです。池間島民であれば、野菜・惣菜の出品手数料は無料です。朝市は午前10時〜11時半まで。たくさんのおスラム又で賑わう市場を目指しているとのことですので、ぜひふるってご参加ください。詳細は池間漁協(75-2011)



池間島の文化財選定を計画

NPOが発行した「イキマ島こよみ 池間の海の生き物カレンダー」は、池間島民をはじめ、池間島に関心を寄せてくださる多くの方々にご購入いただきました。カレンダーの売上は「池間島を元気にする取り組み」に使用することになっています。この間、多くの方々にその用途についてご意見を伺い、検討を重ねた結果、①池間島の史跡や名所、歴史的に価値があると考えられている場所などを池間島自治会が独自に「文化財」として指定し、②その説明看板を設置することにより、島民や観光客に広く池間島の魅力をアピールすることを目的とした活動に、この売上を使用していきたいと考えています。

島の人が大切にしている場所や未来に残していきたいもの、胸をはって伝えていきたいことなど、島の文化財として選定したいものの候補を挙げています。今後、いくつかの案内板の形にしていきたいと計画しています。ご意見・ご提案は、NPOまでご連絡ください。



マイバイの側溝(溝)について

集落の西側、スクニャー〜マイバイ〜スキンマに伸びる護岸には、道路との間に幅20センチ、深さ25センチほどの側溝があります。側溝にはふたがされており、しばしば車が脱輪したり、溝に足を踏み外してけがをする人が出たりと、事故が起ころってしまいました。このような状況を受け、池間自治会が昨年秋季ごろから行政に働きかけを行い、今月初めによく対応策がとられました。側溝の道路側に縁石が並べられています。通行の際はご注意ください。



ミャークツツの日程確定

今年のミャークツツの日程について、いろいろと議論がありました。池間自治会が、佐良浜、西辺の両自治会と協議をおこなった結果、今年のミャークツツは9月15日〜17日に行うことに決定したとのこと。

今月の行事

- 3月13日(金) 池間小中学校卒業式
- 3月15日(日) ヒダガンニガイ
- 3月21日(土) 14時〜 シマ学校